

2011年3月31日

**アステラス製薬 新企業CM「僕はアステラスのくすり。」シリーズ
医療用医薬品が主人公となり、創薬への想いを表現する
新CM、4月1日(金)より放映開始のお知らせ
—アニメーション作家“城井^{あや}文”さん書下ろしのアニメーションを
女優“本上まなみ”さんのナレーションと、“矢野顕子”さんの音楽にのせて展開—
新ミニ番組「Letters ～感謝の手紙～」
テレビ東京・BS ジャパンで、4月7日(木)より1社提供開始**

アステラス製薬株式会社(社長:野木森雅郁、以下、アステラス製薬)は、新しい企業CM「僕はアステラスのくすり。」を、2011年4月1日(金)より放映しますのでお知らせいたします。

アステラス製薬は、2007年より、「明日は変えられる。」のコミュニケーションスローガンとともに、アンメットメディカルニーズを満たす新薬で、世界中の患者さんの健康に貢献していくという、アステラス製薬の企業姿勢を発信していくブランドコミュニケーションを展開しています。

その一環として、2009年には「病気が教えてくれたこと」をテーマとしたエッセイコンテストを実施し12,000通もの応募を頂きました。これを受け、2010年には、アステラス製薬のくすり創りに込めている想いを一期一会のCMで表現した「120文字のアステラス」を、企業広告として発信して参りました。

今回展開する新CMは、これまでの企業広告で発信してきた創薬への想いをわかり易く理解していただけるよう、アステラス製薬のくすり(医療用医薬品)自身が主人公となり、一人称でアステラスの想いを語っていくシリーズとなっております。くすり自身のこと、アステラス製薬のこと、社員のこと、研究のことなどを、患者さんの視点から表現し、共感性の高いCMを目指しました。

くすりである主人公の、「ぼくがどんな存在であるか？」の自己紹介からはじまり、くすりから見た患者さんへの想いなどを、オリジナルアニメーションのストーリー仕立てで展開していきます。

なお今回、優しいタッチの作風で知られるアニメーション作家城井^{あや}文さんに、このCMのためのアニメーションを書き下ろしていただきました。また、ナレーターに女優本上まなみさんを起用、「120文字のアステラス」にも協力いただいた矢野顕子さんの楽曲にのせて、アステラス製薬の想いを広く、深く伝えていきます。

また、新CMが放映される番組として、テレビ東京/BS-Japanの新ミニ番組「Letters ～感謝の手紙～」が4月7日(木)から放映されます。この番組では、本上まなみさんがナビゲーターとして出演され、患者さんから医師へ感謝の思いを託した手紙を紹介していく番組です。この番組をアステラス製薬が1社提供いたします。

CM 内容の詳細や放映予定、出演者のプロフィールは、別紙を参照ください。

アステラス製薬は、今後もさまざまな媒体を通じて、病気と闘うすべての人々と、勇気と希望を共有できるようなブランドコミュニケーションを展開していきます。

【本リリースに関する報道関係の方のお問い合わせ先】

アステラス製薬株式会社 広報部

TEL:03-3244-3201 FAX:03-5201-7473

<別紙 1>

■今回のテレビ CMについて

<CM 内容>

物語のプロローグとして、「僕はアステラスのくすり。」のストーリーと、一人称で今後語っていく僕とは、どんな存在なのかを自己紹介するCMです。

以降のストーリーは8月以降に放送する予定です。

* CM カット表は<別紙 2>を参照ください。

<放送予定>

以下の番組で放送していきます。

・TBS系列全国ネット「NEWS23クロス」

毎週月曜日～木曜日 22時54分から(金曜日 23時30分から)

・テレビ東京「Letters ～感謝の手紙～」

毎週木曜日 20時54分から

※同番組はBS-JAPANでも放映します。(毎週土曜日 21時55分から)

<WEB>

本CMのスペシャルバージョンをアステラス製薬のウェブサイト(<http://www.astellas.com/jp/>)に掲載いたします。またご協力を頂きました、城井文さん、本上まなみさん、矢野顕子さんが登場するスペシャルコンテンツもご覧いただけます。

※同サイトは、4月1日(金)19時にオープン予定です。

<コミュニケーションスローガン「明日は変えられる。」>

アステラス製薬は、「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念(存在意義)に掲げています。「明日は変えられる。」というコミュニケーションスローガンは、患者さんとそのご家族にとっては、病気という困難を乗り越えていく勇気と希望のことばであり、アステラスにとっては、アンメットメディカルニーズを満たし、ほんとうに求められる新薬づくりに挑戦するアステラスグループの社員一人ひとりの決意のことばです。

明日は変えられる。

それはアステラスの、くすりづくりにかける決意のことば。

すべての患者さんと、新薬でともに闘いたい。

病気を克服して、もう一度心から笑ってほしい。

そんなわたしたちの願いを、このことばに込めています。

■アニメーション担当 プロフィール

【城井 文(しろい あや)】



1968 年生まれ

東京芸術大学デザイン科在学中より、CINANIMA 95 (オランダ)入選

BACA - JA 1996 年 最優秀賞受賞、同大学大学院修了作品買い上げ。

修了後、助手、講師をしながら、アニメーション作家として活躍。

子ども番組を中心に PV、CM など、音楽にあわせたアニメーションが得意。

代表作「象の背中」

現在、東京芸術大学、東京工芸大学、アミューズメントメディア総合学院の非常勤講師も務める。

■ナレーション担当 プロフィール

【本上 まなみ(ほんじょう まなみ)】



1975年東京生まれ、大阪育ち。

女優として数々のドラマ、映画に出演。

バラエティ番組MC、ラジオ番組ナビゲーターも務める。

また、雑誌の連載を持つなどエッセイストとしても活躍。

その活動は多岐に亘る。趣味は絵本の朗読と旅行。

一児の母。

■作曲担当アーティスト プロフィール

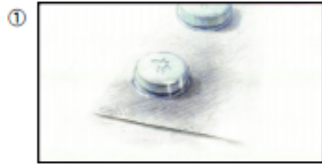
【矢野 顕子(やの あきこ)】



1976 年にデビュー。その後、YMO との共演、ピアノ弾き語り「出前コンサート」、児童詩・童謡とのジョイントなど、ジャズ・ロックからクラシックまでの幅広いミュージシャン達との交流を持ち、ジャンルにとらわれない自由・ユニークで質の高い活動を続け、高い評価を獲得。

1990 年、ニューヨーク州へ移住。トーマス・ドルビー、パット・メセニー、チーフタンズ、T ボーン・バーネットをはじめとした、世界的なアーティストとの共同制作を行う。2009 年2月には、10年振りとなる弾き語りアルバム「音楽堂」をリリースした。

<別紙2>



僕は、
アステラスのくすり。



僕は、くすりの中でも、



お医者さんと
いっしょに闘うくすりです。



作曲：矢野 麗子
10年以上かかって、



研究者たちの想いを



受け継いで
生まれてきました。



治せない病気を



ひとつでも治したくて、





S. 世界にまだないくすりのために。





明日は変えられる。
アステラス製薬


<別紙3>


① 僕は、
アステラスのくすり。


② 僕は、
生まれてきました。


③ 作曲：矢野 麗子
世界には、


④ まだ十分な治療薬のない
病気がたくさんあるから。


⑤ その病気と


⑥ 闘っている人が、
大勢いるから。


⑦ 

⑧ 僕は、生まれてきました。

⑨ 

⑩ ひとつでも、
そんな病気をなくしたくて。

⑪ 世界にまだないくすりのために。

⑫ 明日は変えられる。
アステラス製薬